

本町通りの七夕飾りがにぎやかになってきた。笹が飾られたのは5月の下旬。仕掛けているのは「きびと」のみなさん。本町通りを中心に街灯の柱に、筒をくくり付け、時期に合わせて飾りが挿される。昨年度くくり付けられている筒の数を聞いたら、71基と教えていただいたが、今年はさらに増えていることを教えていただいた▼小学校の子どもたちにも声をかけていただき、一人2枚、短冊に願いを書かせてもらった。そうやって集められた短冊が飾られ始めたのだ▼本町通りはわたしにとっては、いくつかある道の一つだった。筒の飾りに気が付いたのは数年前、それからは、何か飾ってあるかな？と時々通るようにしていた▼阿下喜に赴任してからは毎日のように通るようになった。筒飾りは楽しみの一つになった▼「もう一つの飾り」に気が付いたのは、今年の2月頃だろうか。本町通りを上がり、阿下喜の交差点で止まった時、顔をあげればきっと目に入る。阿下喜にふさわしい飾りが左右の鉄柱の先にあった。はじめて見つけた時は、なぜか誇らしい気持ちになった。それから交差点で止まると自然にそちらに目移る▼さてさて、子どもたちよ！その飾りを見たことがあるかい？その飾りが躍動する季節が近づいてきた。7月には祭好会の方がやってくる。阿下喜の夏は、「きびと」と「祭好会」が運んでくれる。まずは短冊と飾りを見に行こう！